

# 算数科 小学校 2年

単元名 「ちがいをみて」  
啓林館 わくわく算数 2下

## 単元の流れ（全4時間）

【第1時】

### 主な学習内容

2本のテープ図の正しいかき方を知り、かく。

#### 「活用」の力育成のために

「～は～より少ない」という言い方を大切に扱い、どちらが多いのか、正しくとらえさせる。(ポイント①②)

【第2時】

### 主な学習内容

2本のテープ図を基に求小の逆思考の問題の式と答えを求める。

#### 「活用」の力育成のために

テープ図に注目させ、演算決定の理由について根拠を示して説明させる。(ポイント①②③)

【第3時】(本時)

### 主な学習内容

2本のテープ図を基に求大の問題の式と答えを求める。

#### 「活用」の力育成のために

テープ図に着目させ、演算決定の理由について根拠を示して説明させる。(ポイント①②③)

【第4時】

- ・単元を振り返り、できるようになったことなどを交流する。
- ・評価問題に取り組む。

単元目標

違いに着目して、求大・求小の逆思考の問題を解く。

### 単元構成の意図

本単元は、2要素1段階の逆思考の求大・求小の問題を取り上げ、加減が用いられる場面の理解をいっそう深めるための単元である。「～は～より多い、少ない」といった言い方を丁寧に扱い2量の数量関係を明確にさせた上で、学習を進めていく。その中で、児童の主体的な判断によって演算決定や立式を行わせることがねらいである。

そこで、はじめに2本のテープ図のかき方を知る。そして、そのテープ図を使って演算決定の理由を説明できる力を伸ばせるようにする。

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①「～は～より多い、少ない」という言い方を丁寧に扱い、2量の数量関係を正しく判断できる力をつけたい。
- ②テープ図を自分でかくことで、文章問題を図で表し、考える手段としてそれを用いる力もつけさせたい。
- ③どうして足し算にしたのか、引き算にしたのかを自分なりにテープ図を使って考える力をつけさせたい。



本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME